

# 内水ハザードマップ

## ハザードマップの目的

近年、台風や前線の影響に伴う大雨により、各地で浸水被害が発生しています。令和7年9月には、近隣の四日市市でも市街地で浸水被害が発生しました。

今後は、地球温暖化の影響により、大雨による水害がさらに起こりやすくなると考えられています。

朝日町では、こうした水害に備え、想定される浸水の危険度を示した「朝日町内水ハザードマップ」を作成しました。このハザードマップを活用し、日ごろからの備えや避難行動について家族や地域で話し合い、安全で迅速な避難につなげてください。

なお、このハザード情報は、現時点の科学的知見に基づく想定であり、想定を超える規模の水害が発生する可能性もあります。

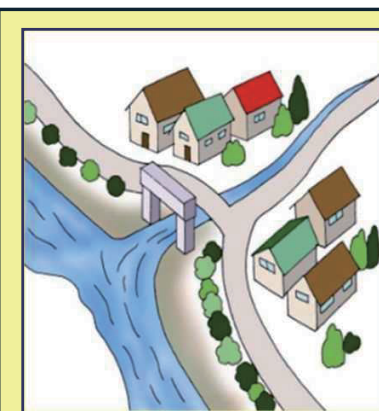


## 内水氾濫のメカニズム

内水氾濫は、一時的に大量の降雨が生じた場合において、下水道等に当該雨水を排除できない場合、または、下水道等から河川等に該当雨水を排除できない場合に発生します。



下水道の排水能力を超える雨が降った場合に、下水道から水があふれたり、下水道に入りきれないで地上に溜まったままになります。



街などに降った雨は、下水道などを通して川に排水されます。



大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。

【問い合わせ先】

朝日町 上下水道課 電話:059-377-3334 E-mail:jyogesui@town.asahi.mie.jp

## 避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えて、避難行動判定フローを参考に、避難するタイミングを考えておきましょう。また、避難先を検討する際には、ハザードマップを確認し、自宅以外への避難が必要なエリアかどうかチェックし、あらかじめ適切な避難先を複数設定しておきましょう。

注) 警戒レベルについての説明は、別冊「朝日町防災ハザードマップ」学習面参照

